

「巻頭特集」助け合いの心で外国人をサポート

国籍を超えたつながりを育む

豊明市国際交流協会

日本で暮らす外国人が増加する近年。外国人と日本人の交流の場を育みたいと設立された豊明市国際交流協会は、今年で25周年を迎える。現在、豊明市に暮らす外国人は人口の約4%にあたる2807人。協会は、生活に寄り添った支援で外国人の暮らしをサポートする。



右から中嶋静夫事務局長、石田英城会長、酒井克俊副会長

生活に密着した言葉をハートで教える「日本語教室」

とある日曜日午前、豊明市総合福祉会館の視聴覚室を訪れると、にぎやかな声が聞こえてきた。時折、笑い声此起彼伏、雰囲気は和気あいあい。外国人と日本人ボランティアが少人数のグループをつくり、テキストを読み進めていく。

豊明市国際交流協会が主催する日本語教室は、1997年からスタート。現在は、小学生を対象とした木曜、社会人を対象とした金曜夜間、日曜午前、日曜午後と全4コースが開かれ、外国人約100人が日本語習得に励む。日本語を教えるのは、大学生、80代の男女40人のボランティア。「語学力は問いません。困っている人を助けたいと思う「ハート」があれば、誰でも参加OKですよ」と事務局を務める中嶋静夫さんは微笑む。



日本語教室では、外国人約100人が学ぶ。4コースのうち、最も参加者が多いのは、日曜日。市外から通う人もいる

他、あいさつなどの日常会話を教える。希望があれば、ゴミの出し方や電話の仕方など、生活に寄り添ったカリキュラムも提供される。「外国の方にとって、ゴミの分別が複雑でわかりにくいようです。119番通報の仕方なども教えています」。自転車を手交手段とする外国人が多いため、

10月上旬には愛知警察署の協力を得て、自転車講習を開催した。

教室では年に1度、日本文化体験ツアーと題して校外学習も実施。今年度は京都へ日帰り旅行を計画しているという。

中嶋さんが活動に携わって20年。「外国人と交流するのが楽しい。帰国した生徒とは今でも連絡を取り合っていますよ。いろいろなボランティア活動に携わっている中でも、日本語教室だけは欠かさず来ています」と話す。

人口の4%が外国人 国際交流の場を育んで

豊明市国際交流協会は1993年に設立した。きっかけは、1990年に改正された「出入国管理及び難民認定法（入管法）」の改正。日系2世、3世に対して在留資格が付与され、ブラジルなど南米の日系人が働き手として来日するようになった。

設立当時の市内の外国人住民数は、

さらなる交流を見据えて 地域に溶け込む仕掛けづくり

「年間を通してさまざまなイベントを企画しています。中でも若い世代に人気なのは、パーキユーやスポーツ交流会。スポーツ交流会では、日本人を含めて200人ほどが集まります」と中嶋事務局長。企画の立案・運営は、17人から成る運営委員会が担当。

毎年9月に開催される「世界の絵本を楽しもう！」は、国籍を問わず、子どもから大人までが集まる人気イベント。人気の絵本を多言語で読み聞かせするなど、ユニークな試みで参加者の心を引きつける。「外国語の絵本が図書館にたくさんあると知り、豊明市立図書館と共同で始めました。5回目となった今年は、来

賓あいさつの代わりに市長が絵本を読むなど、楽しい1日となりました。

今年6月に閣議決定された「経済財政運営と改革の基本方針」（骨太の方針2018）において、外国人労働者の受け入れ拡大などが盛り込まれ、今後、日本で生活する外国人の増加が見込まれる。文化や言葉が異なる日本での暮らしはたやすくはない。少しでも快適な暮らしができるようにと、石田会長は、「外国人とのネットワークを密にして、活動を活性化させたい」と先を見据える。中嶋事務局長は、「ゴミ出しで困っていたら声をかけるなど、助け合うことが重要。地域のイベントなどに誘うなど積極的に声をかけて、地域に溶け込めるような働きかけをしていきたい」と話してくれた。



シェバトン高校の生徒11人、教員2人の計13人が今年9月に来日。ウエルカムパーティーでは甲冑を着たり茶道を体験したりと、日本文化に親しんだ



毎年6月に開催される「スポーツ交流会」。参加者200人のうち、外国人が半数を占める。ビーチボールは、最も人気の高い競技



毎年6月に開催される「桶狭間古戦場まつり」にも参加。甲冑を着て武者行列に仲間入りし、市内を練り歩いた

information

豊明市国際交流協会設立25周年
シェバトン市友好都市提携15周年記念

笑顔でつなぐ多文化共生

11月18日〔日〕 12時～16時

会場／豊明市文化会館小ホール、ギャラリー

講演／「多文化共生ってキモチいい?～日本社会の可能性を広げるために～」

上野千鶴子氏（社会学者・東京大学名誉教授、認定NPO法人ウィメンズアクションネットワーク理事長）

※来場者40人に上野千鶴子氏の著書をプレゼント

その他、アトラクション多数

子ども日本語教室・日本語教室ボランティア募集中!

問い合わせは、豊明市国際交流協会まで

豊明市国際交流協会

TEL 0562-92-4649 <http://tira.jpn.org/>

(右から)

ロナリン・ジャンガさん

国籍フィリピン／滞在歴9か月

日本語教室は、いろいろな国の人と出会えるからとても楽しく、ボランティアの先生も優しいです。今の目標は、漢字を読めるようになることです

ルディー・マイエンさん

国籍グアテマラ／滞在歴8年

今年10月から日本語教室に通い始めました。日本語を学び、仕事に役立てるだけでなく、テレビや映画などをスムーズに理解できるようになりたいです

